

大路川流域治水協議会(第2回)を開催しました!

県から、「これまでいただいた住民の皆様のご意見(まとめ)」、「対策効果(一例)」、「令和4年度の取組予定」をご説明させていただきました。

その上で、参加者の皆様から、今後の取組方針等についてご意見をいただきました。

日時… 令和4年2月15日(火)19時~21時

場所… 8会場(県庁・東部庁舎・鳥取市役所の計8会議室)に分かれてWEB開催

参加者… 全8地区の住民代表者 計26名(各地区3名程度)

県の説明内容

(1)これまでいただいた住民の皆様のご意見(まとめ)

「大路川流域治水協議会(第1回)」(令和3年5月)及び「地区単位の意見交換会」(7月~11月)を開催し、住民の皆様から流域治水に対する率直なご意見をお聞きしました。

<まとめ>

➤ 多くの方々が、概ね次のようなご意見でした。

①精神論としては、雨水貯留対策(田んぼダム等)の意義を理解できる。

②しかし、

- ・対策の効果(どれくらい雨水を貯留でき、どれくらい被害が軽減されるか)
- ・具体的に、どのようなやり方で対策を実施したらよいのか

【例:田んぼダムの場合】どのように実施すれば稲の生育に支障がなく、また、畔を壊すことなくできるのかわからないため、自分自身が取り組むイメージがわからない。

➤ 下流域の方々と上流域の方々とではご意見に相違がありました。

(下流域のご意見)上流域の方々には、少しでも雨水を貯留していただきたい。

(上流域のご意見)下流域の方々には、まず水路の土砂撤去等自分達ができることをしていただきたい。

(2)対策効果(一例) ※流域治水通信(第6号)に記載した内容をご説明しました。

(3)令和4年度の取組予定

➤ 上下流域合同での「まちあるき」や「座談会」

・上下流域の相互理解を深めるため、合同で「まちあるき」座談会を実施し土地利用の歴史や地域課題を皆で共有します。

➤ 田んぼダムのモデル圃場の設置、ため池の使用実態調査

・田んぼダムのモデル圃場を設置し、「堰板の設置方法の展示」「貯留効果の見える化」「普及啓発パネル展示」を行います。
・流域内のため池について、営農に無理のない事前放流等の取組を検討するため、まず使用実態調査を行います。

➤ 啓発活動

・雨水貯留対策を表現した模型を活用した小中学校での防災教育、浸水深表示板の設置等を進めます。

➤ 住民・行政が一緒になって「大路川流域治水ビジョン」を策定

・皆が心をつ一つにして、今後どういう取組をしていくのかを取りまとめます。

参加者の皆様の主なご意見

【美保地区】

- ・今回の効果算定は時間雨量66mmを対象にしているとのことであるが、どういう雨なのかイメージできない。地域住民にとってイメージしやすい雨で計算してほしい。
- ・雨水タンクは効果が小さいかもしれないが、少しでも効果があるのであれば設置していくべきである。どれぐらいの経費を要するのかをおしえてほしい。

【美保南地区】

- ・田んぼダムだけに頼るのではなく、我々は雨水タンク設置を進めたい。また、用水路の土砂撤去にも取り組んでいきたい、まずは用水路がどこにあるのかを皆で知るところから始めたい。
- ・田んぼダムについては、農家の方々が「畔の損傷」や「稲の生育への支障」を懸念されているが、行政が補償するというスタンスを示してほしい。

【倉田地区】

- ・鳥取駅南の水田は270haあるが、これを一括りとして田んぼダムにするとすると相当の問題点がある。倉田と美保南といったように、もう少し部分的に検討していくべき。
- ・田んぼダムについては、田が損傷した場合、修繕には自己負担が生ずる。また、稲の生育に支障が出たら損害が生ずる。これは制度的な問題である。

【面影地区】

- ・今回のシミュレーションは非常に雑ばくであると感じた。先進事例（滋賀、新潟等）を参考として、もう一歩わかるように具体的に対策効果を示してほしい。
- ・この40年50年で都市化が進んで水田が激減し、受益者が減少した。残った用水路をしっかりと管理していかないといけないが、やり手が本当に少ない。排水できるように市・県も連携して取り組んでほしい。

【米里地区】

- ・土地によって課題が異なるので、分野別に分科会を設けて話をするのがよいと思う。
- ・米里では、耕作者だけでなく地権者にも用水路の土砂撤去に参加していただいている。ここで大事なのが、楽しさを持って皆でやっていくということ。
- ・用水路について、取水側は皆がそれなりに土砂撤去をするが、排水側はおろそかになっている。

【津ノ井地区】

- ・雨水タンクは、雨が降る前に空にしておかないといけないし、設置経費がかかるため無理だと思う。
- ・ため池の堆積土を撤去したり、斜樋などを放流しやすいように改修したりすることが効果的であるが、地元負担がネックとなり中々取組が進まない。治水目的ということで地元負担をなくせないか。
- ・既に田んぼダムをやっているが、今年の7月は短時間で強い雨が降ったので、直ぐに水が一杯になり効果がなかったと思っている。長雨でじわじわと水が貯まる場合は効果があるだろう。

【若葉台地区】

- ・大池調整池と公園調整池については、堆積土の撤去と堤の補強をすれば雨水を多く貯められる。
- ・雨水タンクの効果が小さく残念である。公共施設で雨水を貯めることを進めてほしい。
- ・流域一体で取り組むように頑張っていないといけないが、小中学校でしっかり防災教育を進めていくことが大事である。

【国府地区】

- ・山でどれだけ貯留できるかも大きな話。近年山が荒れてきているが、どれだけ管理していけるかが鍵。
- ・雨が降った際の連絡体制をしっかりと整えていただきたい。ため池や堰などの操作をする人に適切なタイミングでしっかり連絡が入るようにする必要がある。
- ・田んぼダムはいい考えだと思うが、まずは皆の危機意識を高めていかないといけないと思う。
- ・校庭で水を貯めるとのことであるが、避難所になっている学校に水を貯めることができるのだろうか。

貴重なご意見をたくさんいただきました。ありがとうございました。

今後は、主にまちあるき・座談会、田んぼダムのモデル圃場の設置等を進めていきますが、**並行して、シミュレーション(対策効果の算定)をできる限り改善し、改めてお示しいと考えています。**また、ご意見を踏まえた制度検討等も進めていきたいと考えています。令和4年度も引き続きよろしくお願ひします。